

福岡県医師信用組合の概要

■医師信用組合とは

○県医師会の関連団体として昭和29年に設立された「お医者さまのための銀行」です。

■業 務

○預金業務

・県医師会に加入する会員の皆さま(個人、法人)の資金を普通預金や定期預金でお預かりします。

○融資業務

・会員の皆さまからお預かりしている預金を原資として資金を必要とする先生方に貸出しを行います。

○経営相談サービス

■業 況 (令和8年3月末)

○預金残高

・734億円

○融資残高

・207億円

○組合員数

・5,290名

■融資のご案内

○資金使途

・個人資金

⇒ 住宅・自動車等の取得資金、子息・子女の学資金、留学資金等あらゆる資金ニーズに対応します。

・事業資金

⇒ 運転資金、納税資金、賞与資金 等

⇒ 医療機器購入資金、事業用地取得・診療所開設・改装資金 等

・その他

⇒ 他金融機関からの既存借入分(事業資金、個人資金⇒ご本人の学資金等も含む)の借換もご相談ください。

⇒ B会員、研修医の方のご利用も可能です。

○ご参考

・「お医者様のための金融機関」なので職員は多忙な医師の事をよく理解しております。

・ご連絡いただければ営業職員がお伺いしますので、ご来店の必要はありません。



※QRコードでホームページが読み込めます

福岡県医師信用組合

〒812-0016

福岡市博多区博多駅南2-9-30

福岡県医師会館3F

TEL (092) 431-4964 fax (092) 473-9531

e-mail: fukuisin@ruby.ocn.ne.jp

<https://fukuisin.jp>

先生のライフステージと 医師信用組合の融資

～お忙しい先生方が簡単・便利にご利用出来ます！～

学生時代に利用していた借入の借換で相談しました。手続きも簡単で、すぐに対応してもらえました。返済方法の相談にも乗っていただき、おかげで安心して医師としてのスタートが切れました。



20代
研修医～

勤務医も利用出来ると知り、申し込みました。忙しい我々にとって簡単・便利に利用出来る医師信用組合は心強い存在です。



30代

医師会の関連団体なので、医師であるこちらの事をよく理解してくれます。手続きも簡単で、知り合いの医師にも積極的に医師信組を勧めています。



40代～

融資限度額

資金ニーズ(例)	自動車	●● ・研修医を含む全世代の方がご利用されています。	無担保 2,500万円※ (研修医は1,000万円)
	奨学金・学資金 ローン返済	●● ・医師信用組合で一括借換が可能です。	
	留 学	●● ・昨今の円安・物価高の影響もあり、お問い合わせが増えています。	
	結婚・趣味	●● ・ゴルフ会員権購入、海外旅行費用等幅広い用途でご利用できます。 ・小口の支出にも対応しております。	
3大支出	学資金	●● ・医学部への進学の場合は、特別な返済条件も用意しております。	有担保 3億円
	住宅資金	●● ・ご多忙な先生に替わり、担当者が各業者や司法書士に対応いたします。	
	開業資金 事業資金	●● ・ご開業の際は、用地購入から初期の運転資金までサポートいたします。	

※学資金など、ご利用目的や諸条件により、ご融資枠の拡大が可能な場合がございます。ご融資枠の拡大をご希望の方は係にご確認ください。

●ご相談は来店不要で、手続きも簡単です。(電話・メールでも対応しております。)

●ご希望があれば担当者が訪問し、説明いたします。

— ご開業の先生方へ —

「医療機関経営相談サービス」をはじめました！ 詳細はホームページをご覧ください。

お医者さまとともに

福岡県医師信用組合

お申し込み・お問い合わせは ☎092-431-4964

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-30 福岡県医師会館3階

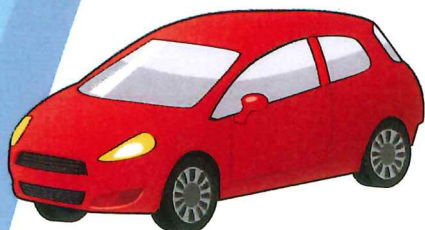
fax.092-473-9531 e-mail fukuisin@ruby.ocn.ne.jp

<https://fukuisin.jp>



マイカーローン

～ご来店は不要です～



年 **1.85** % (令和8年8月3日現在)

期間 最長10年

- ・保証料・手数料不要
- ・他金融機関カーローン・ディーラーローンの借換も可
- ・保証人なしでのご利用も可能です。詳細は係までお尋ねください。

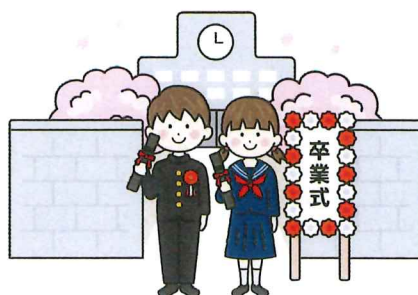
学資金・留学資金融資

～ご来店は不要です～

無担保融資枠 **2500** 万円※1

最長 **20** 年※2

据置 最長 **6** 年



※1 私立医療系学部の学資金については、諸条件を満たせば限度額の増額が可能です。

留学資金の金額や返済期間については、別途ご相談ください。

※2 私立医療系学部以外は、最長10年以内となります。

・審査の結果、ご希望に添いかねる事もございますのでご了承ください。

繰上返済
手数料不要

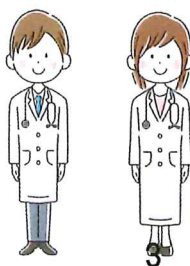
事務手数料
不要

郵送のみで
ご契約可

Tel.092-431-4964

お医者さまとともに

福岡県医師信用組合



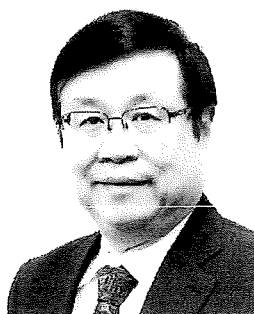
email:fukuisin@ruby.ocn.ne.jp

fax:092-473-9531

homepage

mail



北九州市立八幡病院
病院長

岡本 好司

大学病院と公立病院で勤務医を 経験したもののからの呟き

はじめに

大学病院に約27年、公立病院に約11年勤務してきた医師です。現在、公立病院の病院長であり、北九州市八幡医師会副会長3期目の立場の医師の呟きとしてお聞きください。

1. 若手医師の医師会入会のメリット

初期研修医を含めた若手医師にとって、医師会入会の意義は全く実感がありません。皆様、自分たちが20代後半や30代前半で入会していたでしょうか。大学病院や総合病院で研修医、専門医予備軍として臨床や、研究に没頭していたのではないのでしょうか。亡き叔父は、とある県の医師会副会長で、日本医師会の代議員も長らく務めておりました。故松田峻一良会長から、「日本医師会に出始めたころお前の叔父貴にお世話になったんや」と言われていました。その叔父が、早く医師会に入会しろと言っていましたが、結局入会は八幡病院に赴任してからでした。必要性を感じないと入会はしません。人数的には開業を機に入会された方が多いと存じます。逆に言うと、若手の勤務医に何かしらのメリットを感じられる活動をしていくことが大事だと思います。

2. 若手医師の入会および継続への取り組み(メリットを感じられる取り組み)

北九州市医師会と地区の八幡医師会は、若手医師の医師会入会の意義も含めて啓蒙活動として、様々な活動を行っています。市としては、勤務医医学集談会で勤務医や研修医報告をして頂き、優秀な演題に対して表彰を行っています。今年で通算40回の開催です。また、北九州専門医レジデント制度を設け、研修資金の支援を行っています。市内の臨床研修医を全員招いて臨床研修医歓迎レセプションを開催し、理事から医師会の活動や取り組みの説明、初期研修を修了し北九州市で継続勤務している先輩たちからの講演などを聞いてもらったりもしています。八幡医師会では、初期研修医を対象とした心エコーや腹部エコーの実務と勉強会を、また今年で14回目となる八幡臨床研修医懇話会を開催しています。研修医教育の分野で著名な先生をお招きし、研鑽を図ると共に同じ地区にある病院間の研修医の交流を深めています。

3. 年会費について

勤務医は、B会員として日本医師会、県医師会、市医師会、地区医師会に年会費を支払います。開業医の皆様と比べ金額は低いのですが、勤務医のほとんどは自腹です(公的病院が肩代わりする事は少ない)。経費で落とせない分、ものすごく高く感じます。学会の年会費と同等の1万~1万5千円ぐらいが妥当なラインです。この点が、初期研修医がC会員として入会(会費免除)しても退会していく理由と考えます。今回卒後5年目まで延長していただく方策が取られたので、良かったのではないのでしょうか。それと、6年目以降10年目ぐらいまでは、今の金額の見直し(減額)が必要だと思います。

4. 医師信用組合について

実は、市中の銀行などより、有利に融資が得られる医師信用組合を活用することが大事であると個人的には考えます。車を購入したり、大きな買い物をしたりするために、まとまった資金を得られることが、個人的には助かった記憶があります。実際、初期研修医が信用組合から融資を受けたので、継続して医師会の会員を続けた部下が複数人います。

おわりに

取り止めのないことを呟きました。何のお役にも立たないかもしれませんが、結構若手勤務医や研修医(小生の子供たちの年代、3人ほどいます笑)も、内容には同意してくれました。医師会に若い力がぜひ増えていただけることを祈念して、この稿を終えたいと思います。

医師会に入ってどうですか？

医師会に入会された方のコメントを紹介します。

case01



医師は個人屋号では
ありません

片岡 恵子 氏

福岡みらい病院 婦人科部長

医師会の「ホント」知ってますか？のパンフレットを頂戴し、その3ページ目に医師会とは「年配医師の集まるサロン？」と書かれてあって、次のページに「いいえ、それは誤解です」と語られています。正直に申し上げますと、私は入会するまで「どうせ地域の老人会みたいなものでしょ」との認識を持っていました。ごめんなさい、低頭低身謝ります(若輩者から見れば、いぶし銀の強面ばかりだったんですもん…これは言い訳)。でも、違います。駆け出しの頃は「医師の技量は個人的なもの」との思い込みもありましたが、苦節20年、ようやくタイトルに掲げた「医師は個人屋号ではない」ことが実感として捉えられるようになりました。医師は、誰かに助けをもらい、チームを組まないと職業として成り立たないのです。

漁業に漁協が、農業に農協があるように、医師にもいざという時に頼って相談できる場所、そして他の職種にはなかなか理解されない、診療や手術、当直、待機に縛られた不自由な時間配分をわかってサポートして下さる機関が必要です。実際、この度縁あって、拙宅を建てたのに医師信用組合にご相談いたしましたが、面倒な手続き一切を引き受け、病院まで出向いてくださり、SMSで24時間ご不安を受け付けますよと言っていただき、まるで優秀な執事を雇ったようです。

年齢を重ねて丸くなるとようやく医師会の良さがわかる、と言うのではかなりもったいない。若く、これからの先生方にもぜひ入会し、手厚いキャリアサポートを受けるとともに次の世代へ引き継ぐ担い手として活躍してほしいと思います。

いいね。

